

第3期京都市伝統産業活性化推進計画においてこれまで実施した主な事業について

No	分類	事業名	事業概要	実績	写真等
1	基本的施策1	戦略的・効果的な補助金制度の創設	市場開拓等の成果や効果を「見える化」し、費用対効果を重視した競争性の高い枠組みへと転換した補助制度を創設する。	・伝統産業振興事業補助金 委員の意見を踏まえ、第三者との連携やイノベーションが期待できる取組、消費喚起につながる取組に重点的に交付。 R2交付件数：40件 R1交付件数：66件 H30交付件数：70件 H29交付件数：72件	 補助金を活用した展示会の様子
2	基本的施策1	戦略的・効果的な補助金制度の創設	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、催事や展示会等が中止・延期になったことで販路が失われ、販売の機会を失っている伝統産業関係者を支援するため、新商品・素材開発に係る経費を補助する制度を創設。	・伝統産業づくり手支援事業補助金 申請件数：766件 (個人及びグループ734件、団体32件)	 補助金を活用して制作された商品の例
3	基本的施策2	京の匠ふれあい事業	伝統産業の職人の雇用創出及び市民、観光客等への伝統産業のPRを目的に市民・児童・観光客等を対象に伝統産業の職人による制作体験教室・制作実演等を実施。	・西陣織会館館内の制作実演を実施。 ・京都伝統産業ミュージアム(旧：京都伝統産業ふれあい館)館内の制作実演を実施。 ・市内小中学校へ業界団体から職人を派遣し、制作体験教室等を実施。 R2延べ雇用人数：715人、受講生徒数：404人 R1延べ雇用人数：933人、受講生徒数：402人 H30延べ雇用人数：1,020人、受講生徒数：446人 H29延べ雇用人数：1,081人、受講生徒数：470人	 金箔押し体験  友禅ハンカチ絞り染め
4	基本的施策2	「わたしたちの伝統産業」の製作	伝統産業についての理解を深めるため、小学4年生が社会科等の授業で使用する副読本「わたしたちの伝統産業」を作成し、市立小学校等に配付する。	・「わたしたちの伝統産業」の発行。市立小学校4年生児童、伝統産業関連団体等へ配布。 R02発行部数：14,500部 R01発行部数：14,500部 H30発行部数：13,870部 H29発行部数：14,500部	 制作した冊子
5	基本的施策3	「伝統産業の日」事業の充実	行政と業界団体が一丸となり、年間を通じて、市民や観光客が本物の伝統産業を体験し、購入できる機会を創出する。	・「伝統産業の日」事業 伝統産業の振興発展を図るため、本市が独自に制定した「伝統産業の日(春分の日)」を中心に、業界団体や本市が普及啓発、需要喚起を目的とした事業を実施。 R2関連事業総数：28事業 R1関連事業総数：128事業 H30関連事業総数：249事業 H29関連事業総数：218事業	 関連事業の様子  中高生きもの着付け&和文体験
6	基本的施策3	新京都館等と連携した伝統産業の魅力の発信力強化	令和元年度から伝統産業製品のふるさと納税返礼品への登録を進め、令和2年度には、YouTubeチャンネル「京都館会議」にて小山薫堂京都館館長プロデュースの「斬新すぎる新たなふるさと納税返礼品」3つを製作。	令和2年度から本格的に伝統産業製品のふるさと納税返礼品への登録を進め、令和3年度においても登録を広く呼び掛けている。 R2選ばれた返礼品数：1073点	 製作されたふるさと納税返礼品
7	基本的施策4	京ものユースコンペティション	現代のライフスタイルに溶け込む「京もの」と、京都の伝統産業のモノづくりができる若手人材を発掘して支援するための作品コンペを実施する。	・京ものユースコンペティション事業 メディア・バイヤーなど外部の審査員の評価による作品コンペを開催。受賞者には、展示会出展支援、メディア露出の機会を提供。 令和 R2：申請者11名、受賞者2名 R1：申請者12名、受賞者2名 H30：申請者12名、受賞者3名 H29：申請者12名、受賞者3名	 受賞した作品
8	基本的施策4	技術後継者育成事業の実施	伝統産業の若手技術者に技術研鑽の資金として、育成資金を支給し、後継者の育成を図るとともに、他業種と交流する機会を提供し、デザインや企画力、マーケティングや経営に関する研修を実施するとともに、展示販売事業等を通じたテストマーケティングの場を提供する。	・伝統産業技術後継者育成事業 伝統産業の若手職人に技術研鑽の資金として育成資金を支給し、後継者の育成を図った。 R2受給決定者数：20名 R1受給決定者数：18名 H30受給決定者数：16名 H29受給決定者数：18名	 若手技術者のグループ「わがば会」
9	基本的施策5	京都伝統産業ミュージアム(旧：京都伝統産業ふれあい館)の運営	京都の伝統産業を体系的に紹介する振興拠点として、伝統産業製品の展示のなど伝統産業の振興を図る。	・ふれあい館リニューアル事業 リニューアルを記念し、これまでとは異なる層へのアプローチとして、子どもをメインターゲットにワークショップや学びの要素を入れた企画展を実施 令和2年3月14日(土)にリニューアルオープン 新型コロナウイルス感染症拡大により一時閉館するも、再開後は以下の企画展を実施。 R2来館者数：65,618人 R1来館者数：92,538人 H30来館者数：169,483人 H29来館者数：179,098人	 継ぐもの -In between crafts-  工芸を分解してみる
10	基本的施策6	『未来の名匠』認定事業の実施、技術功労者表彰の実施	伝統産業の中核を担う中堅職人を奨励する「京都市伝統産業『未来の名匠』認定事業」を実施する。また、認定された職人のネットワーク化を図り、販路の開拓等に取り組む。 伝統産業の技術の高さをPRするため、技術功労者に表彰された職人による実演や講演等を実施する。	・『未来の名匠』認定事業 R2認定者数：10名 R1認定者数：10名 H30認定者数：10名 H29認定者数：10名 ・技術功労者顕彰制度事業 R2顕彰者数：12名 R1顕彰者数：12名 H30顕彰者数：15名 H29顕彰者数：22名	 式典の様子 